平成 20 年度の主な新規事業

1．暮らしの安心・安全を守るまちづくり

●ファミリーサポートセンター設置事業（400 万円）

子育てをしながら働いている人を援助することを目的として，援助を受けたい会員と援助を行いたい会員による地域における相互援助組織を設立します。

●予防接種の普及啓発（1,148 万円）

麻しんワクチンを１度しか接種していない世代の１３歳（中学１年生）と１８歳（高校３年生）に相当する年齢の方を対象に追加接種として２回目の予防接種を受ける機会を設けます。

2．市民が主役のまちづくり

●市民活動推進基本方針策定事業（15 万円）

市民活動推進検討委員会（仮称）を設置し，市民活動推進の基本となる指針を策定します。

●「人権の花」運動の推進（4 万円）

市内小学生（年２校）による花の育成を通じて，命の大切さや思いやりの心を育てます。

3．うるおいのある快適なまちづくり

●住宅マスタープラン策定事業（803 万円）

新市の総合計画をもとに，ゆとりある住宅の供給と快適で質の高い居住空間を提供するため，住宅政策にかかる総合的な計画を策定し，その推進を図ります。

●小・中学校校舎「緑のカーテン」整備事業（47 万円）

夏季の教室内の温度を下げるため窓側につる性植物を植える「緑のカーテン」を設置します。平成２０年度は実験的に小学校１校に設置し，その成果をふまえ徐々に設置箇所を増やしていく予定です。

4．にぎわいと活力にみちたまちづくり

●ふるさと融資事業（6 億円）

活力と魅力ある地域づくりを推進するため，（財）地域総合整備財団（ふるさと財団）の支援により，地元民間事業者に対してふるさと融資事業資金（無利子資金）の貸し付けを行います。

●農業振興地域整備計画策定事業（577 万円）

国・県の計画や市の基本構想，都市計画マスタープラン等で示される土地利用との整合性を図りつつ，農業振興地域を全体的に見直し，農業振興地域整備計画を策定します。平成２０・２１年度の２か年で行います。

5．人が輝く心豊かなまちづくり

●「幼･保･小･中」生活改善･知能向上教育特区事業（477 万円）

一日の主な生活の場である「学校」と「家庭」で，それぞれが工夫しながら，やるべきことをやり，そして協力しあうことで「自分の将来に明るい希望を持つ，元気な子どもを育てる」という目標に向けて事業をすすめます。

▲本市が独自に取組む「モジュール授業」のようす

●図書配送サービスの充実（127 万円）

小中学校等に図書を配送するための車を更新することで，配送サービスの充実を図り，図書館に備えている図書資料をより有効に活用します。

その他の事業｜昨年度，止むを得ず休止・縮小した事業についてもできる限りの予算を措置しました

●中学生海外派遣事業（0 円→ 172 万円）

財政難により，当面は隔年実施の中学生海外派遣ですが，昨年は，多くの方の温かいご支援に支えられ，思わぬ形で実現しました。今年度は，実施年にあたりますので，予定通り派遣事業を行います。

▲昨年の中学生海外派遣のようす（レッドクリフ市）

●図書購入事業（122 万円→ 698 万円）

昨年度は，図書購入費に関しても大幅な削減を余儀なくされましたが，今年度については，新刊図書を一定数購入するなど，利用者に少しでもご満足いただけるよう予算措置に努めました。

▲市立図書館では，たくさんの方のご利用をお待ちしています。（中央図書館）